令和７年度　脊振学園地域連携推進会議　議事録

〇日　　時　　　　令和７年１０月３０日（木）
〇開始時刻　　　　１０：３０～１２：０５
〇場　　所　　　　脊振学園会議室
〇出席者
　構成員６名　　　Ｓ構成員（利用者代表）
　　　　　　　　　Ｋ構成員（利用者の家族代表）
　　　　　　　　　Ｈ構成員（地域の関係者代表）
　　　　　　　　　Ｅ構成員（福祉に知見のある方代表）
　　　　　　　　　M構成員（経営に知見のある方代表）
　　　　　　　　　Ｉ構成員（市町村担当者代表）
　ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ１名　　Ｙ評議員：社会福祉法人なごむ会評議員
　事務局６名　　　木室博文（施設長）、金武隆守（事務長）、福島隆（支援課課長）、
　　　　　　　　　古賀智美（支援課副課長）、木下宏美（事務班長）、
　　　　　　　　　加々良昌子（管理栄養士）
〇欠席者　　　なし
〇次第内容
　１．地域推進会議（PP による説明）
　　　構成員、地域連携推進会議について、脊振学園の概要、脊振学園の沿革、利用者の年齢構成、障害者の障害者支援区分、利用者の在園期間、脊振学園の概要（職員）、脊振学園の行事、脊振学園の概要（訓練・委員会）、脊振学園の概要（決算）、脊振学園の概要（権利擁護）
　２．知的障害と生活支援について（PP による説明）
　　　3 つの基準、生活支援の考え方、障害の程度、支援の工夫、支援の姿勢、支援員の想い
　３．給食サービス紹介（PP による説明）
　　　給食提供について、給食提供時の留意点、利用者の特性に合わせた献立の対応
　４．施設紹介・施設見学
　５．意見交換
　６．給食の試食

　開　　会　１０：３０

【開会】
　事務局（金武事務長）
　　・令和７年度地域連携推進会議の開会

【挨拶】

事務局（木室施設長）

- ・地域連携推進会議は地域の方々の目を通して、施設の運営及び施設における利用者の生活の状況等を見ることで、職員が気づかない点、あるいは課題と思われる点等について意見交換する場であり、今年度から義務化されたもの。
- ・一方、施設側としても、障害者支援施設から地域への移行という大きな流れの中で、地域の方の支援はこれまで以上に必要となるもの。
- ・この地域連携推進会議を介して、施設のよき理解者となっていただくことと併せて地域の方々との橋渡し役を担っていただきたい。

【説明】

・省略

【意見交換】

（E構成員）

- ・施設見学の際に利用者の方とお会いしたが、今後の地域移行を実現するに当たり、意向確認が難しい利用者に対してはどのように行うのか。

→　木室施設長

・軽度の方であればある程度、意向確認が可能と思われるが、重度の方は保護者等、その方をよくご存じの方が、その方の意志等を代弁していただく方法等を考えている。

（E構成員）

- ・救護施設にいた時に、グループを細かく分けて、社会生活に対応できるように訓練をしていたが、その点はどうか。

→　福島課長

・利用者の方はこれまでGHの経験もなく、情報も持たない。これからどのようにして情報提供したらGH等を理解してもらえるかが課題。

（K構成員）

- ・ライフラインの関係で、停電した場合の発電機の設置、浄水の確保は大丈夫なのか。

→　福島課長

・小型の発電機はあるが、30 アンペアで携帯の充電ぐらい可。大型の発電機はない。水は井戸水だが、停電すると汲み上げが出来ないため、他の施設より支援が必要。

→　加々良栄養士

・非常用水として 3 日分 90 人想定で確保済み。

（K構成員）

・地下水は塩素処理か。水質検査はどうか。

→　加々良栄養士

・水質検査は年 5 回しており、残留塩素濃度は毎日 2 回確認し、0.1 ㎎/ℓで基準内となっている。

（E構成員）

・避難訓練は毎月、実施する必要があったのではないか。

→　福島課長

・消防法での避難訓練の規定は年 2 回、消火訓練も年 2 回、また、BCP 業務継続計画は年 2 回が義務化された。

（E構成員）

・後見人が何か個人的な理由で辞められた場合はどうなるのか。

→　木室施設長

・後任者の選任を家裁に申立することになる。

（M構成員）

・地域連携推進会議の４つの目的の中で、脊振学園として１と２はすでに達成できていると思われるが、３と４が今後の取り組み分野と考えてよいか。

→　木室施設長

・地域の方の目を入れる事によって達成できるものと考えている。この会議等の開催意義はまさにそこにあると思う。

（S構成員）

・見学の中で分かったが、利用者の方の特性が全く違うなかで、統一した支援を行うことや専門的な技術を伝授することは意外と難しいと思われ

る。また、職員からの個別の問いかけ等もあるかと思うが、研修や相談、情報共有はどのように行われているのか。

→　　古賀副課長

・支援技術の向上のための研修の受講や会議時における職員への周知、個別相談の為の相談担当の配置などで対応している。

→　　福島課長

・利用者毎に支援員を配置しているが、特に難しい方には副課長を中心にリーダーを決めてグループで対応方法を検討する取り組みを今年度から始めた。

（E構成員）

・嘱託医はどこと契約しているのか。怪我とか大変な事態になることがあったのでないか。

→　　木室施設長

・Ｆホスピタルの医師が嘱託医。ヒヤリハットにもあるように薬関係の事故が多く、できるだけ看護師２人と連携して未然に防ぐ努力をしている。

（K構成員）

・家族会として以前から要望していた浴槽の改修工事はどうなったのか。

→　　木室施設長

・設計まで行ったが、令和２年の東京オリンピック開催に伴う資材の高騰、その後のコロナ禍での人件費の高騰等で 2,000 万の予算だったものが最終的には倍以上まで高騰した。理事会で延期に踏み切ったが、近い将来、施設の建て替えの議論と共に検討を始める予定となっている。

【閉会】

事務局（金武事務長）

・令和７年度地域連携推進会議の閉会

閉　　会　１２：０５

【給食の実食】